



平成30年度冬号 (NO. 34)

発行：竜丘地域自治会

編集：地域振興委員会

問合せ先：(0265) 26-9303

## 地区独自の土地利用計画の策定に向けて



私たちが子供や孫が主役を担う時代を見据え、住民主体のまちづくりを進める上での指針となる「竜丘地域基本構想」を平成26年3月に策定し、地域の目指す将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」の実現のために、6分野7つの丘づくりに取り組んでいます。

その7つの丘づくりの一つとして「秩序ある適正な土地利用」が位置づけられており、今後、三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通等によって、多様な土地利用が生じ環境・景観に影響を与えることも予想されるため、景観に配慮したまちづくりを実感できる取り組みが必要となっています。そこで、平成30年3月に地区内の各種団体、

事業者、地域の代表など24名の皆さん(右表のとおり)を委嘱し、竜丘地区土地利用等検討委員会を立ち上げ、検討を重ねて参りました。

竜丘基本構想に掲げた地域の目指す将来像に沿って、地域を9つのゾーンに分類し、具体的な土地利用や環境・景観に配慮した地域づくりやルールづくりを進めるため、新たに地区独自の「土地利用計画」の策定に向けて取り組んでいます。

委員会によってとりまとめた計画素案については、現在、組合回覧をはじめ、各区役員を通じて、地区の皆様に説明しながら、ご意見を募集しているところです。

この計画が、基本構想に掲げる将来像を実現するための礎となるように取り組んでいますので、ぜひ素案をご覧いただき、ご意見・ご提言いただければ幸いです。



竜丘地区  
土地利用等検討委員会名簿

氏名	地区
中島 武津雄	桐林
前澤 正信	長野原
熊谷 和美	上川路
下平 勝熙	桐林
伊原 聡	時又
下井田 実	長野原
田添 荘文	駄科
塚平 英行	上川路
下平 幸子	時又
久保田 文男	上川路
長谷部 進	上川路
金子 至	上川路
原 正義	桐林
今村 悦夫	長野原
下平 恒男	駄科
木下 和彦	時又
今村 明人	時又
加藤 直樹	時又
塚平 一成	時又
中島 かおり	長野原
白上 貴弘	駄科
伊東 正人	時又
伊東 恵子	駄科
今村 文彦	桐林

### これまでの検討経過

- 第1回 3月12日 学習会
- 第2回 6月18日 今年度進め方確認、重点区域(3カ所)ワークショップ等
- 第3回 8月21日 目指すべき姿、ゾーン設定とその目標の検討
- 第4回 9月24日 現地視察
- 第5回 12月5日 地区独自「竜丘地域土地利用計画(素案)」検討
- 第6回 1月30日 竜丘地域土地利用計画(素案)まとめ

(竜丘地区土地利用等検討委員会)

### 竜丘地域土地利用構想図



## 連載シリーズ 第9回 ～ 紹介します ～ 「乳幼児学級」



1歳児学級クリスマス会

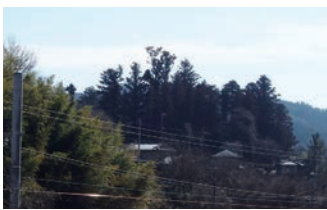
乳幼児学級では、親も子ども共に健やかに成長していけるよう、子育てのヒントや子どもの成長・発達に合わせた遊びや学びなど、0歳、1歳、2・3歳に分かれ毎月1回行っています。毎回テーマに沿って、家ではできないダイナミックな遊びや親子のふれあい遊びの紹介、季節の行事など楽しい内容がもりだくさんです！また、スタッフとして保育士・保健師がいるので、いつでも気軽に子育ての悩みを相談できます。

お申込み等は竜丘自治振興センターまでご連絡ください。ぜひ、遊びにきてくださいね。  
(保健師 小池 友子)

## アオサギ被害 ～時又八王子神社～



1992年



2019年

時又八王子神社の森は、30年前にはこんもりと茂っていた。

餌場と巣作りの条件に合っていたのか、数年前、アオサギが住みついた。巣作りの時期には30～40センチの枝を足でつかみ、面白いくらいに何羽も行き来をしていた。天竜川やいけすから、小魚や大きな鯉を捕まえてのルートも決まっていたようだ。

木のてっぺんにとまった20羽ほどのアオサギの糞により、あっという間に杉の木が傷み、枝折れなどで落ちてきた枝により社殿にも被害が生じた。氏子総代の皆さんを中心に区民が寄付金を募るなどして、御神木をどうにか守ろうと手立てをした。しかし、災難が重なり、落雷による火災がおき、社殿横の大きな夫婦杉は伐採されてしまった。残った木も枝の傷みがひどく、今ではアオサギも来ないが、森の天辺は隙間から空が見えるようになってしまった。

こんもりとした森が帰るのはいつのことかと、地元神社の森を見守っている。(時又 下平 幸子)



## 優秀賞・中日新聞社賞受賞 ～中部の未来創造大賞～

去る、平成30年12月、天竜川鷲流峡復活プロジェクトが「中部の未来創造大賞」にて、優秀賞、中日新聞社賞を同時受賞した。

平成27年に不法投棄ゼロを目指し、プロジェクトが立ち上がって4年。竹林伐採による整備と通年の維持管理を行いながら、竹筏による川下りや竹灯籠作り、補助金だけに頼らない自主財源を確保するため、メンマの制作・販売など竹を資源として活用することにも取り組んでいる。これらの体験型観光資源や農産加工品の創出は地域の産業振興にも役立っている。

また、地元の小学校や高等学校等とも連携し、様々な体験学習、環境教育の場としても活用されており、次世代を担う人材の育成にも貢献していると高く評価された。



(竜丘地域自治会)

## 編集後記

2年間、たつおか四季報編集の担当をさせていただきました。

地域の方々から話を聞いたり、原稿を書いていただいたりしました。私たちも知らないことがたくさんあり、楽しみながら竜丘のことを知ることができました。たくさんの情報提供と、ご協力に感謝します。ありがとうございました。

来年度も引き続き、たつおか四季報を宜しくお願い致します。

【伊東(駄科)、長尾(長野原)、下平(時又)、岡村(桐林)、笹岡(上川路)】